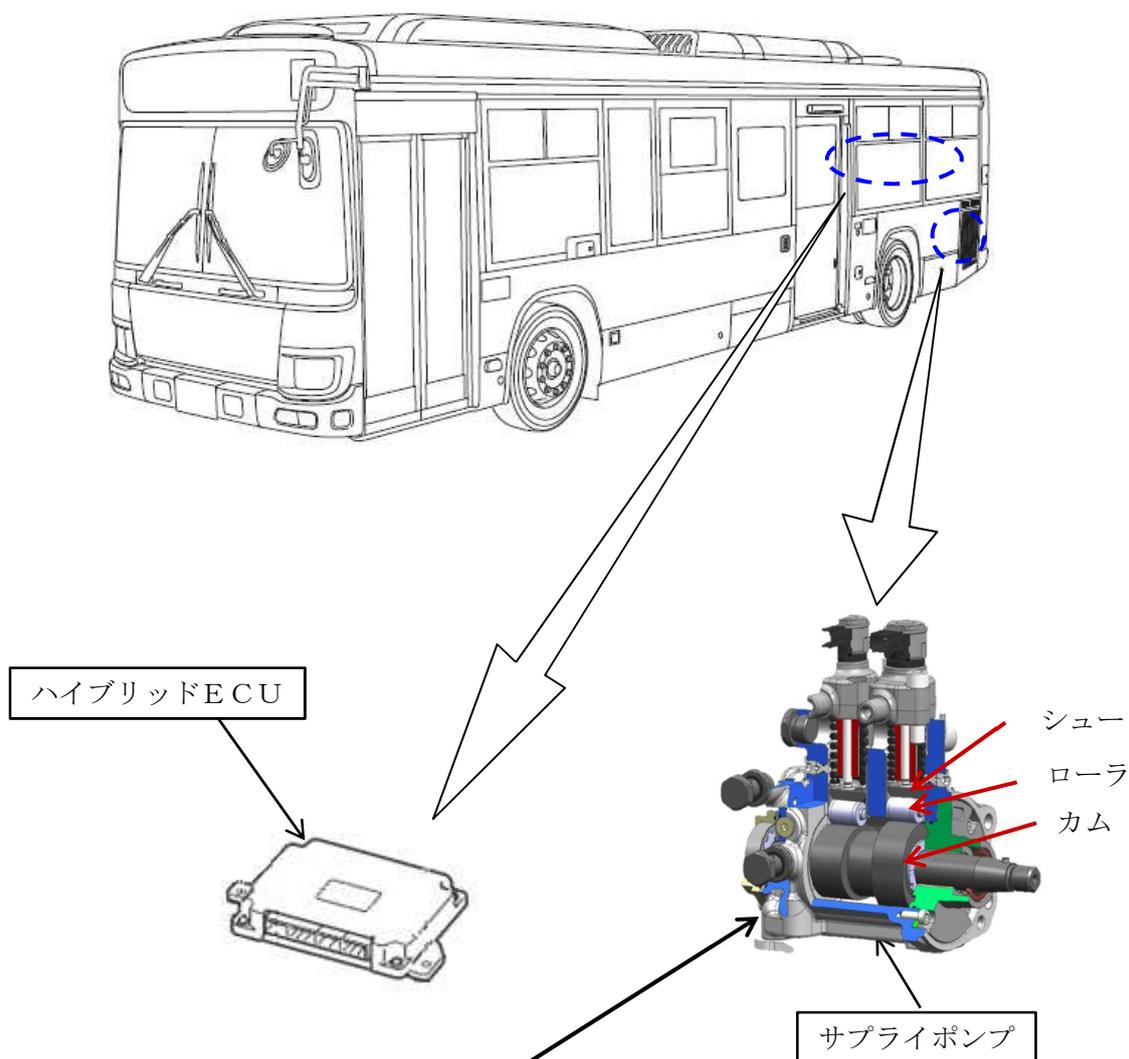


改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

注： は交換する部品を示す。

大型ハイブリッド路線バスにおいて、エンジン始動時のハイブリッド制御プログラムが不適切なため、サプライポンプの回転速度に燃料供給が追い付かず、サプライポンプのローラとシュー間で潤滑不良を起こすことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ローラとシューが焼付いてサプライポンプが破損し、走行できなくなるおそれがある。

改善の内容：

全車両、ハイブリッドECU及びサプライポンプを対策品に交換する。

識別：改善済車両にはエンジン後部の右側に白色ペイントを塗布する。